【ゼロ動線水栓】

NF1065-19

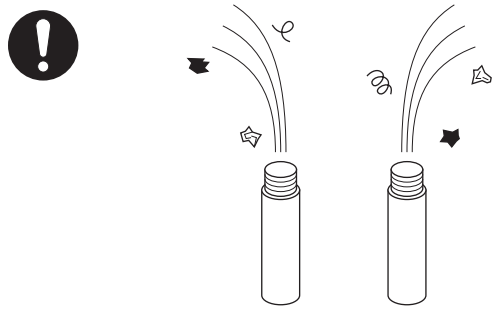
取付・設置説明書 安全上のご注意

●取付・設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく行ってください。
●ここに示した ⚠ 注意は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。
いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●取付・設置完了後、試験運転を行い、異常が無いことを確認するとともに、「取扱説明書」にそってお客様に使用方法を説明してください。
●取付・設置は、専門業者にご依頼ください。
●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

この図記号は、**製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する**図記号です。	この図記号は、**製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する**図記号です。

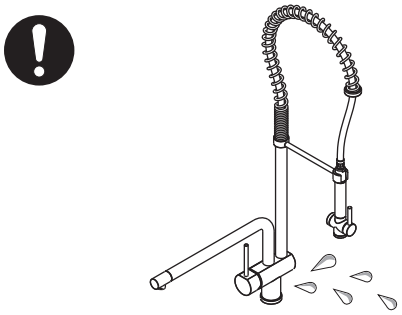
⚠ 注意

水栓を取付ける前に、配管内のゴミ等を完全に取り除いてください。



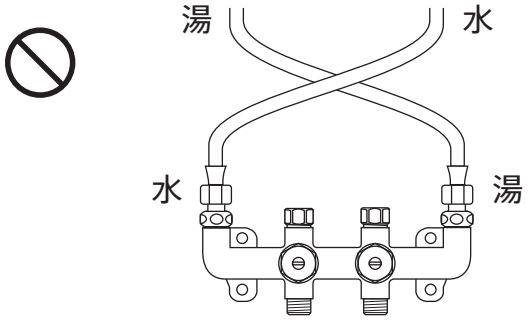
水漏れが発生し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

取付・設置完了後は、配管接続部および器具から水漏れが無いことを確認してください。



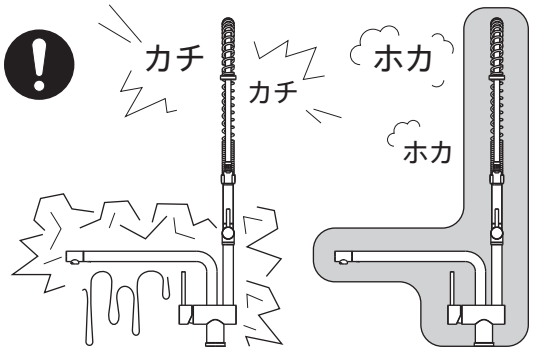
漏水で、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

湯水を逆に配管しないでください。



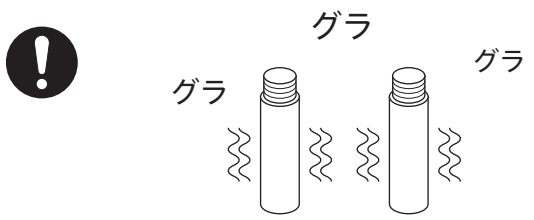
水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。

凍結が予想される際は、室温を下げないようにして水栓を布等の保温効果があるもので包んでください。



凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

水栓を固定する配管はしっかり固定してください。

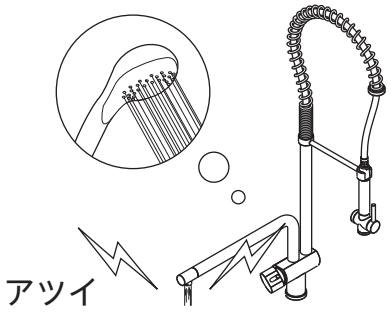


接続部分がゆるみ、漏水して家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

取付け後に、フレキシブルホースを無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。

接続部分に負荷がかかり、漏水して家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

他所の水栓の使用等により水圧変動が起こり、湯を使用中に湯温が急上昇することがあります。



やけどの恐れがありますので、やけどの恐れが無いところまで水圧変動を押さえた配管設備にしてください。

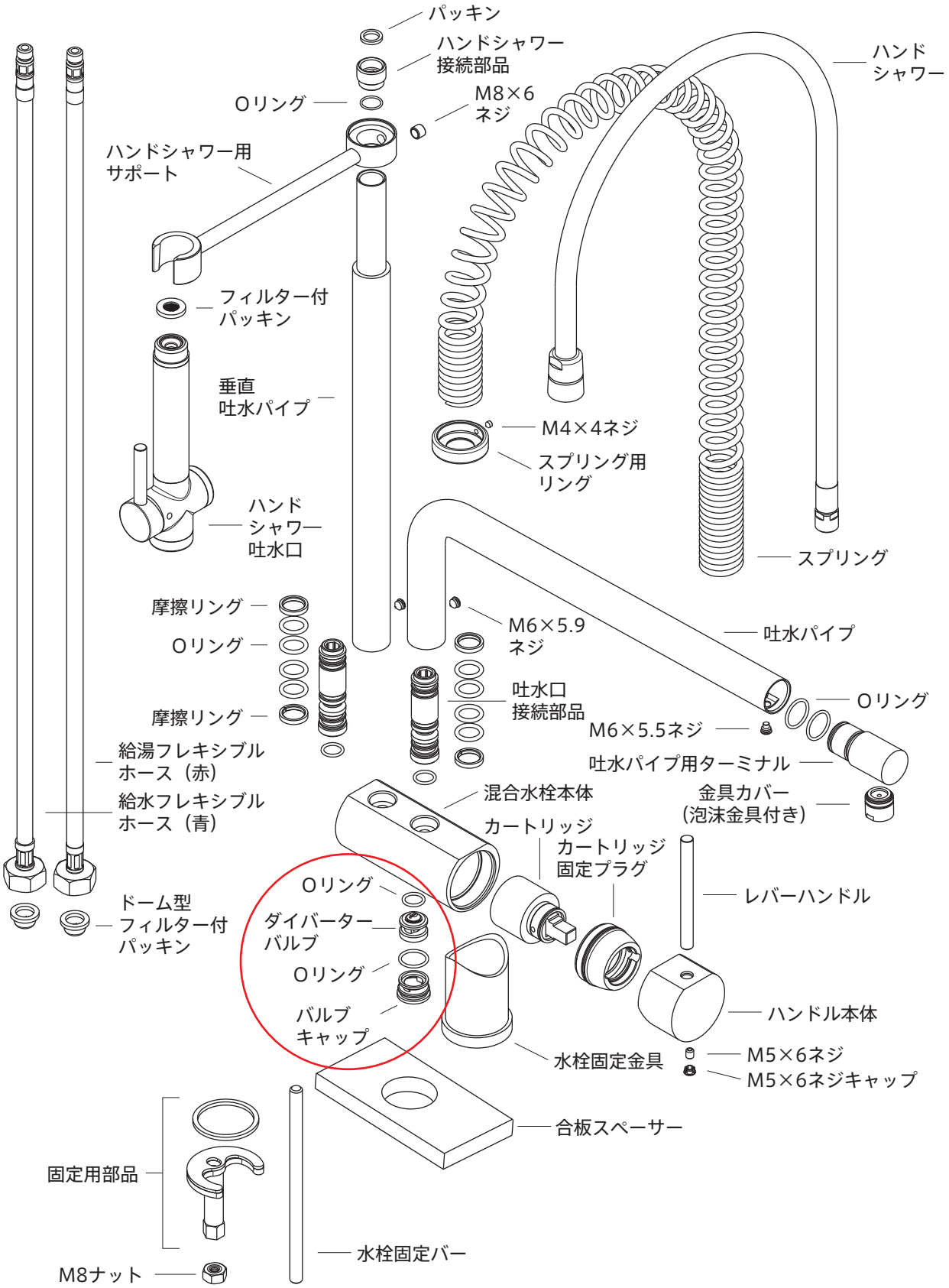
仕様

給水・給湯圧力	推奨操作水圧	０．３ＭＰａ
	最低必要水圧	０．１ＭＰａ
	最高水圧	０．５ＭＰａ
最高給湯温度		７５℃以下
推奨給湯温度		５０～５５℃
使用可能水質		水道水および飲用可能な井戸水
用　　途		一般住宅用

取付け前のご注意

・給水圧力が０．５ＭＰａを超える場合は、市販の減圧弁を設置して推奨操作水圧（０．３ＭＰａ）に減圧してください。
・給水圧力は給湯圧力より高くするか同等になるようにしてください。
・誤作動等によるやけどを防止するため、５５℃給湯をお奨めします。
・給湯配管は最短距離で配管し、配管には保温材を巻いてください。

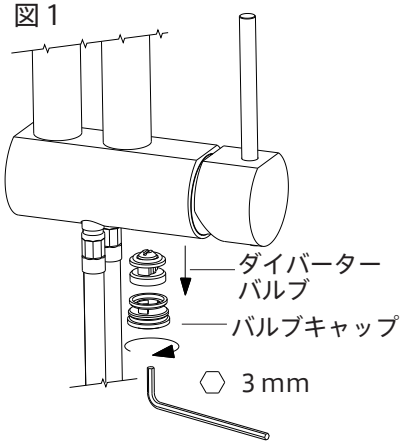
分解図


パッキン
ハンドシャワー
接続部品
Oリング
M8×6
ネジ
ハンドシャワー用
サポート
ハンド
シャワー
フィルター付
パッキン
垂直
吐水パイプ
M4×4ネジ
スプリング用
リング
ハンド
シャワー
吐水口
スプリング
摩擦リング
Oリング
摩擦リング
M6×5.9
ネジ
吐水パイプ
吐水口
接続部品
Oリング
M6×5.5ネジ
吐水パイプ用ターミナル
給湯フレキシブル
ホース（赤）
給水フレキシブル
ホース（青）
混合水栓本体
金具カバー
（泡沫金具付き）
カートリッジ
カートリッジ
固定プラグ
Oリング
ダイバーター
バルブ
Oリング
バルブ
キャップ
レバーハンドル
ドーム型
フィルター付
パッキン
ハンドル本体
水栓固定金具
M5×6ネジ
M5×6ネジキャップ
合板スペーサー
固定用部品
水栓固定バー
M8ナット

水栓の取付け　1

■取付設置の準備
・ダイバーターバルブの動作確認
六角レンチ（3．0mm）を使用して、バルブキャップを外し、底部にあるダイバーターバルブを取り出して下さい。取り出したダイバーターバルブに付着した不純物を、樹脂製のブラシなどを使用して、水を流しながらきれいに落として下さい。その後で、ダイバーターバルブが上下にスムーズに動くことを確認したら、バルブの向きを間違えないように元の位置に取付け直してください。（図1）

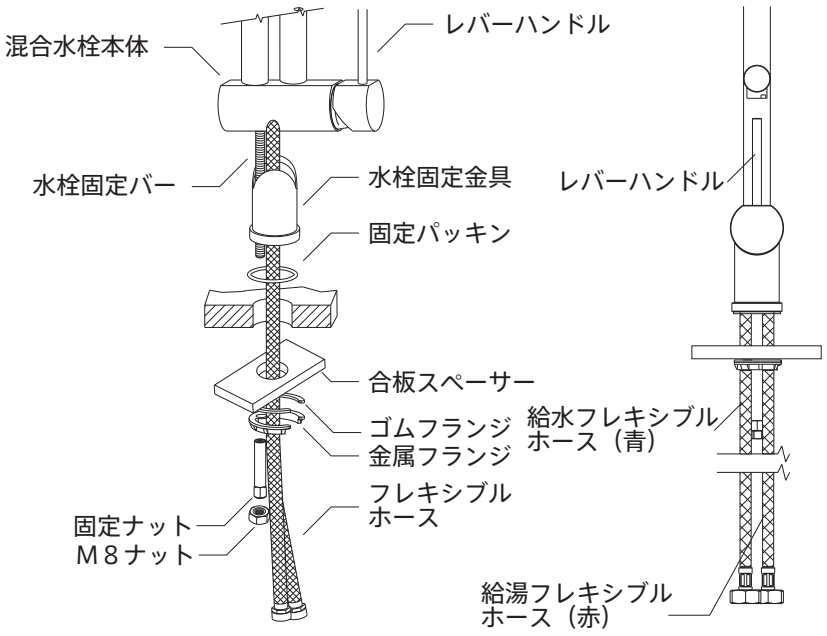
図1



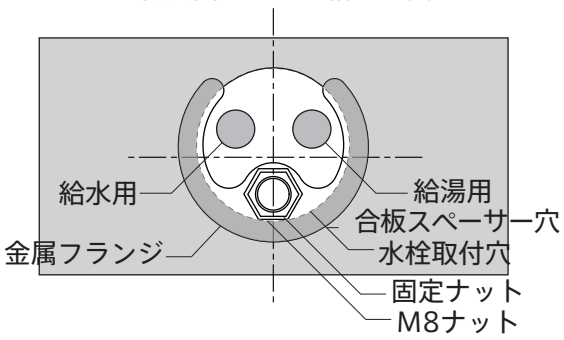
■取付け前に、全てのパイプやホースをすすいでホコリやゴミ等を完全に取り除いてください。
■取付け順に従って確実に取付けてください。
■取付け後は本管止水栓を開き、締め付け各部から水濡れが無いことを確認し、実用テストを必ず実施して
ください。
■水漏れ試験の後、通水を十分に行ってください。配管内のゴミが詰まり、故障の原因になります。

1．給水・給湯フレキシブルホースに水栓固定金具を通しておきます。（図2）
2．混合水栓本体に給水・給湯フレキシブルホースを取付けます。（図2）
※　給水・給湯フレキシブルホースにゆるみが無いことを必ず確認してください。
3．混合水栓本体に水栓固定バーを取付けます。（図2）
※　水栓固定バーが混合水栓本体にしっかり固定されていることを確認してください。
締め付けがゆるいと、混合水栓本体のガタツキの原因になります。
4．給水・給湯フレキシブルホースの下側より固定パッキンを通し、混合水栓本体を天板の水栓取付穴に差し込みます。（図2）
5．天板裏面より合板スペーサー、ゴムフランジ、金属フランジを通し、固定ナット、M8ナットをセットします。（図2）
6．固定ナットを締め付け、更にM8ナットにて固定します。（図2）
※　金属フランジは合板スペーサーの抑え面に均等にかかるように締め付けてください。
金属フランジと合板スペーサーがずれた状態だと水栓本体がガタつく恐れがあります。

図2



天板裏面から見た納まり図



※この水栓は左が「水」
右が「湯」の設定です。
接続にご注意ください。

7．給水・給湯フレキシブルホースを止水栓に固定します。
給水・給湯フレキシブルホースが回らないようにホースの六角ナットの付け根部分をプライヤー等でつかんで固定してから、スパナで六角ナットを締めて止水栓に固定してください。（図３、４）

注意：給水・給湯フレキシブルホースはねじらないでください。給水・給湯フレキシブルホースの抜け防止および水漏れ防止のため、給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。
給水・給湯フレキシブルホースを固定後、本体接続部分が確実に締まっているか確認してください。

図３

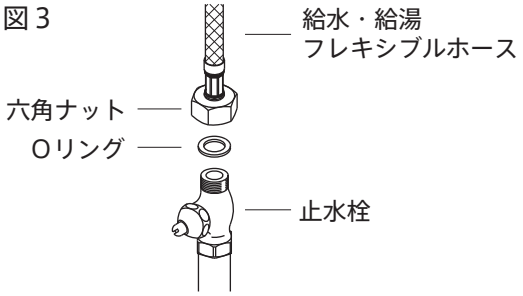
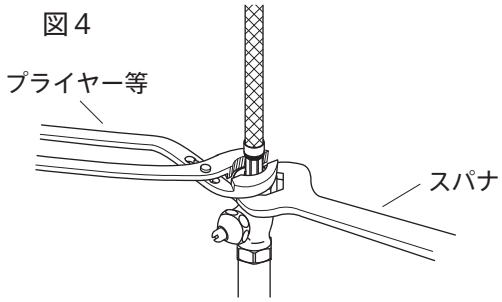
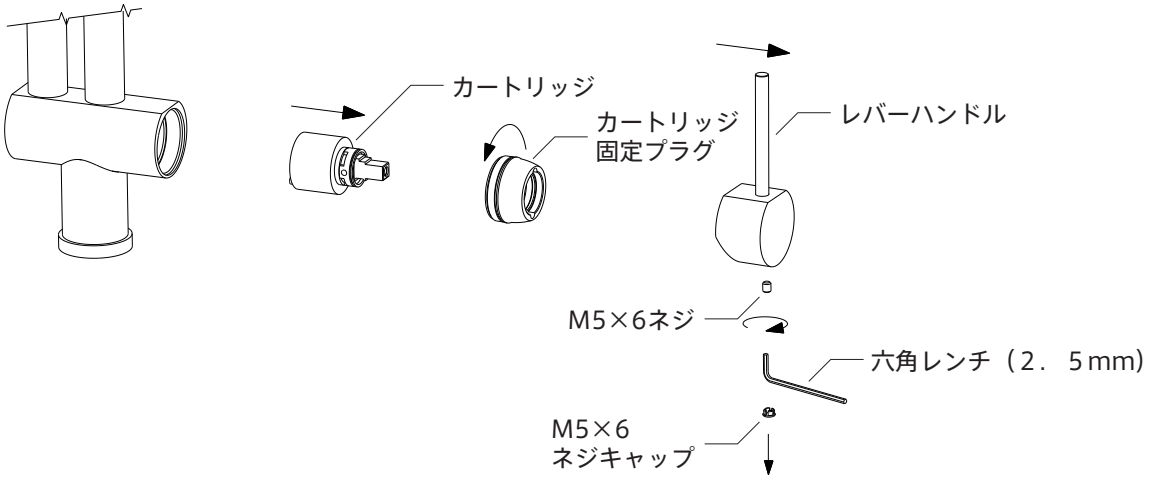


図４

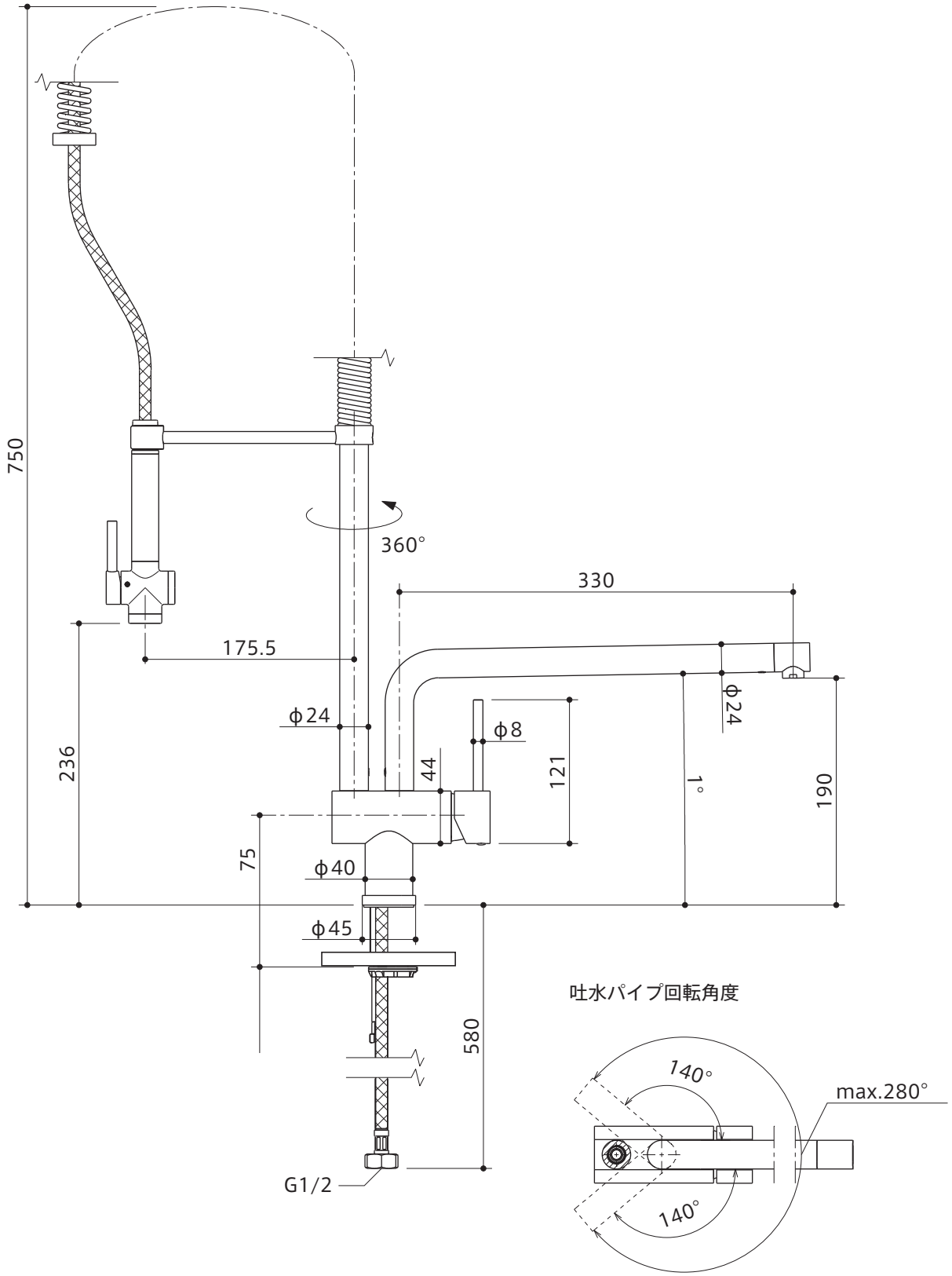


カートリッジの交換方法

・カートリッジを交換する時は、下記の要領で行ってください。
※カートリッジを交換する前に止水栓が閉まっていることを確認してください。
また、レバーハンドルが中央位置にあることを確認してください。



外観寸法図


750
360°
330
175.5
φ24
φ8
44
121
236
1°
φ24
190
75
φ40
φ45
580
G1/2
吐水パイプ回転角度
140°
max.280°
140°

設置後の確認

・取付け後にホースとのジョイントや給水・給湯との接続、水栓本体に取付けられている接続パイプや給水
・給湯フレキシブルホース等にゆるみが無いことを必ず確認してください。

トーヨーキッチンホームページのオンラインショップ「SHOP TOYO KITCHEN」でオプションパーツをご購入いただけます。
詳しくは、store.toyokitchen.co.jpをご覧ください。

トーヨーキッチンスタイルカスタマーサービス

https://www.toyokitchen.co.jp/support/maintenance/

トーヨーキッチンスタイルカスタマーサービスでは、保証期間内、経過後のメンテナンスやパーツの販売を承ります。

スマートフォンからでも修理／メンテナンスの依頼ができます。
←アクセスはこちらから

P9WP-TRS658
26.1

株式会社 トーヨーキッチンスタイル　www.toyokitchen.co.jp　〒107-0062　東京都港区南青山3-16-3